



留学生と語り合う No. 75

RKK ニュース (2019年春号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

新年度を迎えるに当たって For the New Fiscal Year



NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明
Tomoaki Fukami, Chairman of RKK (NPO)

新元号「令和」が始まります。時を同じくして、RKKは創立20周年を迎えました。新たな気持ちで留学生の成長を支援し、彼らの喜びの聲に接すれば嬉しく、私共は心の張りを持つことでしょう。

この度の創立20周年記念誌に留学生から多くの寄稿があり、そこにはRKKへの感謝、また、今後の活動への希望もありました。詳細は記念誌をご覧ください。その要点は、RKKでは、大学等ではできない勉強ができる。そして、生きた日本語を知る機会として非常に有益である。さらに、以下の要望がありました。

- ・日本社会の知識、文化、習慣や秩序等の理解のためのサポート
 - ・各国留学生間の交流や共同開催イベント
 - ・専門知識のサポート
- 全体として、留学生は日本社会に関心をもち、幅広い交流を求めているようです。

このように留学生の要望は創立時とは変わり、広がりを見せています。その声を尊重し皆様と共に支援について考えたいと思います。一方、20年を経てRKKの活動能力の確保・増進の必要性が高まっているように見受けられます。

このような状況において、留学生への支援・交流の目的を変えることなく、社会の潮流に応じた支援方法や仕組みを考え、見直すことが必要ではないでしょうか。それをこれからの「新たな一歩」として。

RKK celebrates its 20th anniversary this year. We have promoted various supports and exchanges including teaching Japanese for international students these twenty years.

For this occasion, many students contributed to the memorial magazine as the 20th anniversary and expressed their gratitude and wishes for future activities. Details are available in the magazine, but the point is that in RKK they can learn what they can't do at universities, which is very beneficial to learn natural Japanese. There are also some needs as follows:

- ・ Support to understand Japanese society widely and deeply by learning Japanese knowledge, culture, custom, order, and so on
- ・ Exchanges among students from other countries and joint events with students
- ・ Support for specialized knowledge

Overall, students seem to have interest in Japanese society and seek wide-ranging exchanges.

Thus, as their demands have changed and expanded since our foundation, we would like to consider our support while respecting their opinions. Moreover, the need for securing and increasing manpower of RKK seems to be growing for twenty years.

In those situations, I think we need to review our support method and system according to the social trend without changing main purpose of support and exchange for students. I wish it would become a new step for the future.

(Translated by Azusa Sugita)

※上記英訳は、左記の要約文です。
※This is a short summary of the original text.

お知らせ

● RKK 通常総会および懇話会 ●

開催日: 5月6日(月、休日)
場 所: かながわ県民センター R301
時 間: 第10回 RKK 通常総会 13:00~14:00
RKK 懇話会 14:15~16:00
懇話会テーマ「留学生 & 日本での生活」

● Star Festival at HIRATSUKA

Date: July 6th(Sat) 2019
Meeting Time & Place:
12:15 Central Public Hall, Big Meeting Room 3rd Fl.
1-20, Oiwake Hiratsuka City 0463-34-2111
For detail. Please scan this code.



● Information on RKK tour event No.69 ●

Date: June 22, 2019 (Sat.)
Meeting: 1:00 p.m. at Akasaka-mitsuke Station of Tokyo-Metro
Ginza Line and Marunouchi Line
Visiting Places: 1) (National Treasure) State Guest House,
Akasaka Palace
2) Toyokawa Inari Temple Complex
For details, scan this code and find the above event.
Please register for participation.



RKK 創立 20 周年

RKK 創立 20 周年を迎えて

RKK 理事長 深水 智明

20 年ということ

20 年とは、人に例えれば、成人を迎え、リタイア後ならば、ボランティア活動等にかけた相当多くの時間ではないでしょうか。10 年一昔以上の変化、それは留学生に関わる状況にも、留学生 30 万人計画等による留学生受け入れの増加、留学生母国の経済発展による考え方の変化、日本での就職希望者の増加等々の変化が見られます。このような変化を目の当たりにして、この創立 20 周年は RKK を改めて見つめるよい機会ではないでしょうか。

留学生支援と交流

RKK は 1999 年（平成 11 年）4 月、留学生にとって日本の留学がより実のあるものになるための一助として留学生への日本語支援をはじめました。丁寧な日本語支援をモットーに 1:1 の個別支援を進めています。と同時に、留学生に日本を知ってもらうために社会・工場見学、中国語等の外国語学習会等の活動、日本語スピーチ大会、文化祭、お祭りへの参加（七夕祭り、お花見など）を行ってまいりました。その結果、RKK はこれまでに 1,000 人近くの留学生を支援、交流を行いました。留学中に支援した留学生とは大学卒業後もメール等で交流している会員もあり、交流の深いことが推察されます。

これからの活動

RKK のこれからの活動に資するために、創立 20 周年記念事業の一つである記念誌の発行に際し、多くの会員皆様から寄稿をいただきました。皆様が RKK の活動をどのように見ておられるか、その寄稿（留学生への支援・交流の意義、価値など）から、それらの要点は次のように概括できました。

記念誌への寄稿内容から

- ・RKK は留学生との交流を通じて、市民レベルの国際交流・親善や多文化共生の価値を見出す機会を提供してくれる。その活動は日本への留学の価値や親日機運を高めている。
- ・留学生との交流により、その世界観を知り知的交流をすること、かつ彼らの将来における社会的役割への期待にチャーターが喜びを感じる。
- ・社会情勢や留学生の動向を見つめながら、留学生支援活動仕組みの柔軟な対応、新しい活動の提案等の要請等。

新たなステップ

このような経緯や現状を踏まえ、次の新たな一歩を踏み出すに当たって、多くの皆様と交流し、英気を養う機会として記念祝賀交流会を開催します。このことは RKK の歴史の一端であり、更にこれまでを振り返り、これからの RKK の課題を見つめるべく記念誌の発行等の創立 20 周年記念事業を実施します。



- ・創立 20 周年記念祝賀交流会の開催；挨拶、講演、記念誌発表など

【日時】2019 年 6 月 29 日（土）13 時より 開場 12 時 30 分

【会場】TKP ガーデンシティ横浜（横浜駅きた東口）「コンカド横浜」ビル

- ・創立 20 周年記念誌の発行；会員および留学生・元留学生による寄稿文

* 記念誌は記念祝賀交流会にて参加者に配布

会員および記念誌に寄稿した留学生の皆様には、記念祝賀交流会にないことにご参加をいただきますようご案内申し上げます。よろしくお願ひします。また、詳細のご案内は、追ってお送りいたします。

“未来に向かって新たな一歩”

留学生のたより

わたし
私とRKK



きおくのこあめ hikingu taiken 記憶に残った雨のハイキング体験

ラティ・デウィ・アラン(インドネシア)
フェリス女学院大学



私はフェリス女学院大学の交換留学生Ratih Dewi Alan(インドネシア)です。一年間、その大学で日本語だけではなく、日本文化も勉強しました。

日本で最初の日本文化を勉強したことがあるのは七夕祭です。その祭りに参加するために、フェリス女学院大学がRKKと協力し、それをきっかけに、私はRKKを知り始めました。七夕祭りの飾りがきれいに飾られた平塚にある道で、私と他の交換留学生

とRKKメンバーと他の参加者は散歩したり、いろいろな食べ物を食べたりしました。その時以来、私はRKKのいろいろなイベントに参加しました。RKKのイベントは全部面白かったが、記憶に残ったのはハイキング体験です。その時に私たちは鎌倉にある丘でハイキングをしました。天気が悪かったのでハイキングの道が滑りやすかった。私は怖くて、ハイキングの途中で辞めたかったが、何回も何回もRKKのメンバーの努力を見ると、最後まで歩。その体験のおかげで、私は簡単にあきらめないように学びました。日本でRKKを知ることができてうれしかったです。



Enjoyable Life in Japan with RKK

Abdurehman Muleta Bali, (エチオピア)横浜国立大学大学院



My name is Abdurehman Muleta Bali. I am from an Eastern African country Ethiopia, known as a home of the ancestors of human kind, Australopithecus later named "Lucy", a

3.2 million years old fossil of human being. Moreover, my country is well known in its unique calendar, a number of UNESCO registered cultures and places, an original alphabet and language. But, what surprised me the most here in Japan is among many unique features of Ethiopia, one name is well known even more than the name of the country, "Abebe". Abebe Bikila is the first Ethiopian professional runner. He won the 1964 Tokyo Olympics for the second time with his bare foot, which is a big history for him and all Ethiopian after winning the Rome Olympics in 1960.

I came to Japan in October, 2018 to pursue my Doctoral Degree in Yokohama National University. My major is Structural Engineering. Especially, Bridge Engineering is what interests me the most. It has been about six months since my arrival. However, I feel that I stayed a lot here because the support of RKK members. The support I get from RKK group is beyond my expectation.

When I joined RKK, Mr. Hagiwara is assigned for me as my RKK partner. He devoted himself in guidance and support about life, language and culture of Japan. Every week we meet and teaches me about daily conversation language and discuss on cultures of Japan. I never forgot the day he invited me to attend Japanese Speech Contest and Cultural Exchanges Event, in that event I saw international students from different universities give presentation with fluent Japanese. That's the very inspiring moment for me to learn more about the language. Furthermore, I highly appreciate the support my family received when we tried to open a bank account. Since we don't speak Japanese, the bank officers told us to bring Japanese speaker to assist us in opening the bank account. It would not be easy to understand what the bank officers are explaining without the support from my RKK partner.

Lastly, I would like to deliver my boundless gratitude to all RKK members for the guidance, support and hospitality you are giving us.

グループ活動だより (中国語学習グループ)



感謝の言葉

～授業を行う中で大きく成長～

段 毅琳(中国)横浜国立大学大学院



この度、三月の博士卒業に伴い退任することになりました。皆さんとは三年間、授業をさせて頂きました。最初はなかなか慣れることができずに、戸惑うこともありましたが、チューターの先生方や生徒のみなさんの暖かさに励まされ、

徐々にスムーズに授業ができるようになっていきました。

RKK 中国語クラスの皆さんはとても親切で、いつも授業の後に食事に行き、色々おしゃべりをしたり、一緒に花見会に行きお酒を楽しむことができました。また、私のバレー発表会の時も鈴木次男先生をはじめ、青池愛子先生、有泉佳子先生、鈴木隆先生、荒井藤樹先生、水沼早苗先生、他何人かの先生が応援に来くださいました。シネマ・オペラ「ヴェルディ/アイーダ」も鈴木先生と水沼先生からご招待頂き、大変感激しました。私の退任に際して、澤口昌弘先生が幹事となって頂き、とても賑やかな食事を開いて頂き、皆様から貴重な記念品を頂戴いたしました。全て素晴らしい思い出です。

親切で優しいは私にとって、日本のお父さん、お母さんのようで、毎週の授業は私にとって癒される時間でした。皆さんの元気な顔や真面目な勉強意欲にとても感動しました。それに比べられるよう、自分も真面目に細かいところまで皆さんに中国語を教えたいと頑張りました。

皆さんにはそれぞれの中国語レベルがありますが、授業での真面目さは一緒であることは間違いありません。もちろん、皆さんは家でもしっかりと予習や宿題をされていました。その中でも、詳取孝先生は中国語検定4級を取得され、二年前から中国語を勉強し始めた水沼早苗先生も4級に合格されました。これらは皆さんの真剣さの表現の一つだと思います。また毎年一回行われる中国旅行もとても有意義なことだと思います。今の中国の都市に対する感想、実際に中国語を使ったときの話などを、よくお互いに笑いながら話しましたね。

中国には「教学相長」という言葉があります。授業をすることは生徒だけではなく、先生も成長をすることができるという意味です。まさにこの言葉の通り、私もみなさんに授業を行う中で、大きく成長することができました。

これから、私は帰国して大学の日本語学の教師となり頑張っていきます。皆さんもどうぞお身体に気を付けて、ますます中国語がうまくなることを期待しています。そして、またいつかどこかでお会いできる日を楽しみにしています。

最後に、いつも美味しい野菜、手づくりの漬物を頂いたりリーダーの山崎先生、皆さんに対して心より感謝申しあげ、挨拶に代えさせて頂きます。皆さんもこの三年間よくできました。長い間お世話になり大変ありがとうございました。

会員募集中

RKKの活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。

入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。

詳しくは、Home Page(Web Site) で検索をお願いします。



グループ活動だより (日本語支援グループ)

ブラッシュアップ講習会

実際の授業の進め方モデル

日本語支援グループ 古谷 清子

ぐに現場で使える教材等、具体的な事例は大変参考になったとの意見が多く聞かれました。

第9回日本語の教え方ブラッシュアップ講習会は、2月に会員20人、一般15人の計35人の参加者で、3日間に亘り開催されました。

今回は、兼ねてより受講者からの希望が多かった「実際の授業」を講義に取り入れて頂きました。現役の留学生3人を相手にした、薄井先生の授業の進め方は受講生に大変好評を博しました。

生徒の人格を尊重し相手に配慮したものの言い方、す



受講者の声

「教え方講習会」に初めて参加して



荻野 照子

2月9日より3回にわたった教え方講習会は薄井先生の分かり易い教え方と、色々な質問に対しても、先ずは質問の内容を肯定的に受け止め、その上で先生の考え方を伝えるという進め方が相まって、とても和やかで気持ちのよい講習会でした。

初日参加者の簡単な自己紹介から、会員の皆様の日本語教育に対する熱い思いが伝わり、日本語学校で働いている私は、ボランティア日本語教育の重要性を改め

て痛感しました。2回目の助詞「は」と「が」の扱い方もとても分かり易くまとめられ、貴重な資料になると思われました。3回目の「学生との模擬授業」は実際の授業のヒントになる応答が多々あり、大変興味深く受講しました。最終日、今回の講習会に参加できた満足感と、いつかRKKの皆様と一緒にボランティアとして日本語教育に携わりたいという思いを胸に帰途につきました。

日本語支援

わたし にほんごしえん
私の日本語支援

にちじょうかい わ で き しえん
『日常生活ができること』の支援



しゅうなんちく すずき いちお
湘南地区 鈴木 市男

私の日本語支援は約一年半が経過しました。現在2人(インドネシアとインド)と週一回、約三時間、日本語の勉強会を県民センターで実施しています。テキストは、『みんなの日本語(初級)』の英語版を使い流暢とは言えない英語での日本語支援を行っています。正直、真冬の寒いときなどは、家を出るのが億劫になります。でも彼らの顔を見たとき、来てよかったと思うことしばしばです。

支援を初めてまだ半年もたないある日、布津さんから『次回のスピーチコンテストにインドネシア出身の彼に出場して貰いますよ』と言われました。当時はまだ簡単な会話もスムーズに出来ない状況でしたので、私は強い不

安を覚えました。彼の初稿は全て英文でした。2人で日本語に変換するとともに少しずつ彼が話す内容に変更を加えていきました。いざ本番、原稿を読むのがやっとの彼が本番では最後まで原稿を一切読むことなくスピーチをやり終えました。これには正直驚かされました。

彼らの目標は『日常生活ができること』です。私は日本語の教え方講習会及びネット上の情報を活用し、試行錯誤しながらその支援を続けていますが、彼らに食事、コンサート及び地域の催し物等に誘い出し、生きた日本語体験支援も継続していきたくとも思っています。

グループ活動だより (日本語支援グループ)

「私の日本語支援から日本語被支援へ感謝ー」

中央地区 畔取 孝

RKKに入会して今年8月で満5年になります。短い経験からですが、私の日本語被支援をお伝えいたします。

留学生が作成するレポート、論文のタイトルは、「『教育プログラムの開発』中国の農村女性の土地・『学習活動で見られる生徒の同調・』人材マネジメント論』中国の女性労働政策・』中国の高齢者福祉』国際私法上の涉外・』財産』公共経済』アマルテア・センの自由と経済開発』中国映画史・』等々があり、自分にとって新しく幅広い分野のことを勉強させていただいています。また、世界人口や食料生産の将来の予測、貧困・飢餓、格差、緑の革命、涉外、ジェンダー、L G B T、母性といった用語も知れるようになり、留学生との日本語会話で私も少しずつ使えるようになりました。

用語の「母性」については、こんなやり取りがありました。

保守的な私「むか～しから、母親が子供に持つ自然な気持ち」と、革新的な留学生「母性の言葉が使われたのは、まだ百年も経っていません。母性は女性に対する社会的な押しつけ」と、意味のとらえ方が違って驚きました。また、専門書の朗読では、私にも意味不明な言葉がよく出てきます。そんなときに、よく質問ができます。「ウーン」と腕組みして唸っていると、スマホから用語解説を見つけて出して見せてくれます。お互いに納得して、先に進みます。

最近、新聞記事を読むときに、以前より理解が深まっていることを実感しています。今、留学生の皆さんに対する感謝の気持ちが湧いてきました。



N1留学生の日本語支援

N1 留学生の支援はどうしたらよいでしょうか

中央地区 村田 威雄

今まで交流した外国人留学生は、初心者から N1 レベルまで多様でした。最近では日本語レベルの高い留学生が多く、大学で N2 レベル以上を要求しているケースもあって、N1 取得者が増えています。N1 レベルといっても、「てにをは」が不自然だったり、促音が不明瞭なことがあり、また、文章添削では複文の主語とか動詞が見当たらずに意味をとれないこともあります。N1 レベルは、外国人向けの J-TEST 日本語検定で準 B 級に相当するようで、「会社や学校において、十分なコミュニケーション能力がある」とされ、特 A 級の「様々な分野、場面において、専門的な話題も理解し対応できる高度なコミュニケーション能力がある」とはかなり異なります。

N1 留学生の日本語支援を系統的に行うにはどうしたら

良いのか、何が不足しているのかを見極めるのは難しい問題です。

良い日本語に接してもらうために新聞、長文理解には専門書を使い、敬語を使った会話などを組み合わせるなど、留学生の希望を聞きながら試行錯誤を続けています。敬語といっても先生、上役、客先で使い分けなくてはならず、手紙を書くときにも失礼の無いようにするなど、実に日本語は難しく、教える方も苦労も大変です。最近では、卒業後に日本企業に就職する留学生が増えていますから、留学生が早く日本での生活に慣れるよう社会常識も含めて多角的に話し合うようにしています。異文化交流で別な視野が広がるのは留学生相手の面白さですし、留学生も同じ思いだと思います。



就活情報支援委員会だより

りゅうがくせい しゅうかつ ざいりゅうしかく とくていぎのう
留学生の就活と在留資格「特定技能」

しゅうがくせいじょうほうしえんいんかい いわせ かつら
就活情報支援委員会 岩瀬 暢男

ねんががつ あら がいにこじんごうけいれ ざいりゅうしかく
2019年4月より新たな外国人材受入として在留資格
とくていぎのう しこう ちゅうしんてきせいいん
「特定技能」が施行されます。RKKの中心的成員と
なっている留学生の就活（日本企業へ就職）
がくごうちゅう しかくがけいかつどう みた しゅう
や、学業中に資格外活動として認められている週
28時間以内のアルバイトとはどのように関係するの
でしょうか。

「特定技能」では14の「特定産業分野」に限つ
ての就労ができ、単純労働を目的とした資格とな
っています。これに対して留学生（在留資格「留
学」）が就職できるのは大学の専攻分野に関連した
職種に従事する企業です（在留資格「高度専門
職」、「技術・人文知識・国際業務」が主）。

法務省は4月よりこれを緩和して日本語を使用す
る（N1以上）職場で年収300万円以上の場合に限り

ぎょうしゆ ぎょうむぶんゆ せんけい しゅうしよく かのう
業種や業務分野を制限せずに就職が可能のように1
年更新の在留資格「特定活動」の導入を検討していま
す（日経ほか）。緩和業は留学生の就職先の選択肢が
増えて好ましい方向と思われま。現在アルバイトに
従事している留学生を卒業後に「特定技能1号」として
フルタイム正規従業員として採用するとの選択肢を
検討している企業もあ
るようですので、RKKの
就活の話題に変化も予想
されます。就活に関する
不慣れな話題や相談があ
りましたら就活情報支援
委員会に声をかけてくだ
さい。



賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

周 亜萍、小久保佐恵子、杉田あずさ、佐々木紀長（敬称略）

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

上前 至（横須賀市）、諸岡宣夫（保土ヶ谷区）、沖 勲（旭区）（敬称略）

ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、新しく留学生支援情報を追加しました。

併せて「会員のひろば」を通じて、留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、
絵画など趣味の情報交換にもご利用下さい。

掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/> または、[NPO RKK](#) で検索

ホームページへのアクセスには、右コードをスキャンして下さい。

広報委員会では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

広報委員会



はなみかい お花見会

文化・ファミリー交流G 徳屋英生

はるからんまふ いちにち しげんこうえん おおたけこうえん こうれい
春爛漫の一日、こども自然公園（大池公園）で恒例の
お花見会が開催されました。

まんかい ちこ ほと かこく にん じゅうがくせい
満開の桜の下、8か国から 21人の留学生とその
家族、日本人18人総勢39人の参加を得、盛大に行わ
れました。

うで にほんりょうりき じゅうがくせい ようい かくこく
腕によりをかけた日本料理と留学生が用意した各国
のお国料理が花を添え国際色あふれる楽しくも賑やか
な食事会となりました。

のみもの お酒、料理、お菓子、果物などでお腹がいつ
ぱいになった後、ウクレレの伴奏に合わせみんなで桜
などの歌を歌い来年の再会を祈念して散会しました。



留学生の声

Sakura



There is seasonal traditional in Japan namely Ohanami which means seeing flowers, I came to Japan on April last year, and at that time I had no feeling with Sakura because I did not understand with the type of

flower and its beauty was the same as beauty as other flowers in my country.

I have some experience in living in 4 seasons country, enjoying the warmth of spring by gathering and chattering with friends in the park just give an ordinary feeling. However, this year, my opinions are different from seeing Sakura. After experiencing winter with an arid landscape, swiftly the cherry blossom gives me more impression about spring season in Japan.

At the RKK activity yesterday, I rode a bicycle from my dormitory, throughout my trip I found many

イル ヘリー（インドネシア）横浜国立大学大学院

cherry trees such as on the golf course and along the river. The colors were so contrasting with the surrounding. For examples like in golf course which has the combination of the yellow color of grass and pink color of cherry blossom.

At the end of the activity, we were singing a song about Sakura. I did not understand Japanese, however, hearing songs about Sakura gave me a heart of happiness because the rhythm was moderate with a higher tone.

I think Sakura is not only a symbol of changing seasons but also a symbol that beauty is not eternal because the Sakura will fall within around 2 weeks after blossom.

Japan is a country with a dynamic theme in each season, namely, Cherry blossoms in spring and next in summer there are many fireworks even (Hanabi). Many illuminations will be installed in autumn, and in winter we can enjoy winter sport.

2019年3月27日実施
第68回 朝日新聞社本社
東京都庁



感謝の日

テリアラム アニワル（中国 新疆ウイグル自治区）横浜国立大学大学院



桜が咲いている
春の季節で、皆様
と世界からの情報
をいち早く提供し
ている朝日新聞
本社と立派な都庁

を見学しました。いい天気の皆様と一緒
に気持ちよく楽しみました。朝日新聞本社
を見学したことによって、世の中の新しい
情報を皆さまに伝えるために裏で沢山の

が世界中いろいろなところで頑張っているこ
とを知りました、その頑張っている人たちに
「お疲れ様でした。ありがとうございます！」と伝え
たかったです。

東京の中心にある立派な都庁を見学したこ
とで、都民が安全・安心に生活するために、沢山の
人が働いていることを知りました。「都民の声課」と
いう部署があることを知り、本当に感動しました

ご案内してくださった都庁の係員から担当先生
は留学生が楽しくスムーズに見学会に参加できる
為、全力で頑張ってく都庁の事務所の人と連絡を取
ったことを聞きまして、大変感動しました、RKKは
まるで温かい家庭のようです。

良い天気で、感謝の気持ちで一杯になった日で
した。留学生たちを応援してくださいました皆様に
ありがとうございます。



RKK 社会・工場見学 G の報告

朝日新聞社の見学予約は仮予約ができず、25人で予約したところ多くの見学申し込み
があり、30人に増員しましたが、数名の方をお断りする結果になり、お詫びいたしま
す。また、都庁の展望室見学はエレベーター前が長蛇の列で見学を断念させて頂き
ました。重ねてお詫び申し上げます。（山口 記）

おもな活動(2019/2から2019/4まで)

理事会

◇3/21 サポートセンターR703にて、臨時理事会が開かれ、RKK 創立 20 周年記念プロジェクトからの計画の進捗報告と検討がされた。また新年度の課題、活動推進目標につき討議された。

スタッフミーティング

◇3/24 午後、サポートセンターR711にて 23 人のスタッフの参加のもと、2018 年度第 4 回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからの G&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、「20 周年記念事業計画の進捗状況」について意見交換をした。

活動グループ

- ◇日本語支援 G: 日本語の教え方ブラッシュアップ講習会は、35 人の受講で、無事終了。
- ◇文化・ファミリー交流 G: 3/31 の二俣川でのお花見会には 39 人が参加。
- ◇中国語学習 G: 4 月からあらたな講師を迎え、11 人で学習を開始。
- ◇社会・工場見学 G: 3/27 朝日新聞本社、東京都庁見学会には 30 人が参加。

地区交流会

- ◇東地区: 3/10 に川崎市民活動センターにて 11 人での交流会・懇親会を実施。
- ◇西地区: 1/27 に 16 人の参加で交流会・新年会を実施。
- ◇南地区: 1/20 に 10 人が参加して中華街のレストランで新年会を実施。
- ◇北地区: 3/16 に 11 人が参加し、鶴ヶ峰の「みなくる」で交流会を実施。
- ◇中央地区: 3/17 にカナファンで 6 人が参加した交流会を実施。
- ◇湘南地区: 3/2 に 10 人の参加で交流会を実施。郊外イベントを企画。

委員会

- ◇会員委員会: 3/24 マッチング検討会を実施。新入会員の受入れ、マッチング業務の推進。
- ◇広報委員会: RKK ニュース 75 号の編集。ホームページに「留学生支援情報」欄を新設。
- ◇就活情報支援委員会: 3/15 に委員会を実施。就活支援情報メールの定期発信と就活サロンの運営展開中。
- ◇企画委員会: 夢ファンド助成金申請。
- ◇会計委員会: 月次精算・決算作業。講習会受講料振込管理。年会費納入管理。
- ◇事務室: 総会・理事会・スタッフミーティング開催準備。事業計画作成支援。会員委員会サポート活動

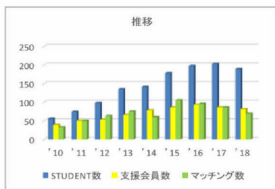
マッチング情報

・2010年度から、2018年度までの日本語支援状況の推移を図示しました。

・人数等は、すべて延べで数えた数です。

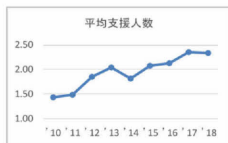
STUDENT 数・支援会員数・マッチング数の推移

年度	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18
STUDENT数	56	74	98	135	141	178	197	203	189
支援会員数	39	50	53	66	78	86	93	86	81
マッチング数	32	50	63	75	60	105	96	86	69



平均支援人数の推移

年度	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18
平均支援人数	1.44	1.48	1.85	2.05	1.81	2.07	2.12	2.36	2.33



・STUDENT 数・支援会員数・マッチング数は、やや減りましたが平均支援人数は高い値が続いています。

新人会員 2 人を加え新鮮な視点で年 4 回開催



東地区 鈴木 隆

冬の寒さが過ぎ、春の近づきを感じられるようになってきた3月10日の午後、東地区では本年度第3回目の交流会を開催しました。

場所はいつもの武蔵小杉駅近くの川崎市民活動センターです。昨年末に3名の方が入会され東地区会員は合計で17人、日本語支援している留学生数は8か国、19人になります。当日は新入会員2人を含めた9名に、深水さん、萩原さんもゲストで参加され、総数11人とにぎやかな会合になりました。交流会では、いつもと同じ様に各人から報告、連絡、相談といった内容で発表して頂きました。ただ今回は新人の方が加わったこともあり、いつもと異なる新



鮮な視点での会話もはずみました。

最後には20Pro 記念プロジェクトの活動進捗状況の話や、東地区のワンステップアップの活動についても話し合いをしました。その結果、東地区会員相互のコミュニケーション向上や、RKKの全体活動状況のフィードバック向上などを目的として交流会の回数を増やして年4回とする事にしました。今回は6月に開催することを決めて、交流会のあとには最近恒例となった武蔵小杉駅前の旧市街(最近開発が進んだ地域とは別の地域)での懇親会でお酒と会話を楽しみ、おおいに盛り上がりました。

トピックス

かながわ国際ファンクラブの地域交流会

しょうなんちく ふかみ ともあき
湘南地区 深水 智明

KANAFAN(かながわ国際ファンクラブ)の地域交流会がこのたびは泉央地域(厚木)で1月11日に開催されました。この地域の留学生との交流の貴重な機会でした。

参加者は、近隣の大学、専門学校や日本語学校の留学生、この地域の国際交流の会、商店連合会、大学や専門学校関係者等でした。RKKからは湘南地区の廣越さん、藤井さん、深水が参加しました。留学生の司会のもと、神奈川県国際課副課長のご挨拶、留学生の話等があり、また、留学生による琵琶、二胡の演奏(演奏はRKKでもお

なじ 訓染みの胡さん、劉さん)で華やき、リラックスな雰囲気
で皆さんの話が大いに弾んでおりました。私共も多摩
女子美術大留学生(中国)、神奈川県工科大留学生(台
湾)、専門学校留学生等と
いろいろと話合いができました。神奈川県各地域
の留学生との交流が広がるよう願っています。



留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese language supporting program by volunteers.

- ・日常会話(Daily Conversation) ・ビジネス会話(Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田 (Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form



よこはま夢ファンド

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。 (企画委員会)



NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール: rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327

ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集: RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 23, 2019

無断転載をお断りします。

